

## 薬用植物の筒栽培 1 ムラサキの試験栽培 1

末岡 昭宣<sup>1</sup>, 酒井 美保<sup>1</sup>, 吉岡 達文<sup>1</sup>, ○草野 源次郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>新日本製薬岩国本郷研)

[目的] ムラサキ *Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et Zucc. (ムラサキ科) の根はシコン (紫根, 硬紫根) と呼び, 薬用, 草木染・化粧品等の原料に供される. わが国ではムラサキは絶滅危惧種 IB に指定され, セイヨウムラサキ *L. officinalis* L. との交配も進んでおり, 純系ムラサキは激滅している. シコンは中国や韓国等から野生品が輸入されるが, 一部に国内栽培品も出回っている. ムラサキは生育環境や栽培条件などの影響を強く受け, 形態や薬効成分シコニン含量なども変化するので, 再現性の高いシコンを確保することが強く求められている. 演者らは長い筒を用い, ビニールハウス内で試験栽培を行い, 立派なシコンが得られることを明らかにしたので報告する.

[方法] 種子は長野県の野生種より採取・継体栽培してきた (天藤製薬) ものの分与を受けた. 筒は径 10cm, 長さ 80cm のものを用い, 5 個から 13 個の穴 (径 5mm) のある底を付けた. 用土は 10 種の配合用土を試験した. 肥料は元肥と追肥を施した. 給水は地上部の様子を観察しながら, 不足時に筒上部へ灌水した. 地下部の収穫は 1 年生と 2 年生の 11 月末~12 月に行った. シコニン含量はエーテル抽出後, 溶液に 2N-NaOH を積層させ, 3 分間室温攪拌し, 水層を分取し, 2N-HCl, エーテルを加え, 3 分間攪拌し, エーテル層を分取し, HPLC で定量した.

[結果] 用土の種類によって, 根の伸長と肥大化は大きく異なった. 排水良好な用土が根をよく生長させた. 高温多湿と給水不足が損傷を与えた. また, 筒下部に水が停滞すると色素を失い, 根腐れを起こした. シコニン含量は 1 年生で 0.8~1.0%, 2 年生で 1.3~1.5% であった. 野外での筒栽培や露地での栽培では, 地上部の生長, 根の伸長と肥大化, シコニン含量は大きく及ばなかった.